

ふれあい新聞

第149号(季刊)
令和6年1月
田中野田町内会



田中野田HP <http://townweb.e-okayamacity.jp/c-tanakanoda/>

町内会ホームページ QRコード ↑



年頭のごあいさつ

田中野田町内会
会長 原 安正



新年あけましておめでとうございます

本年も皆さまが平穏で安全・安心な生活が送れますようお祈りいたします

昨年は5月に新型コロナウイルス感染症の5類移行により行動制限から解放され、清々しい新年をお迎えることと思います。交流が不安な時期でも地域活動に協力、継続くださった方々に厚く御礼申し上げます。

コロナ禍では危機感、恐怖感を感じる中で、社会生活存続の工夫と変革によって在宅勤務や新たなビジネスモデルなどが普及しました。近年、町内会は子ども会の休止や白寿会(老人会)の解散、行事や活動にご尽力いただいている方々の高齢化で新たな局面を迎えています。大きな行事である夏祭り、白鬚宮秋祭りの再開にあたっては子ども会に代わり町内会が役割を継承、経験者から教えて頂きながら次世代へと引き継ぐ第一歩を踏み出しました。模索しつつの状況でしたが大勢の方のご協力、ご参加を得て、当たり前のことができる喜びを共有し、無事に開催できたことが何よりでした。培ってきたことを基礎に新しい意見も取り入れて主催者側・参加者側の双方が「楽しい、また参加(実施)したい」と感じる魅力ある企画・発信をしていきます。幸いなことに当地区は生活しやすいと良い評判を聞くことが多く、若い世代の転入も増えています。是非、若い力をお貸しください。時代に沿った活動ができるように舵を取っていきたいと思っています。

一方、生活しやすい町を維持するためには、交通安全、環境、防災への注力も重要となります。交通安全では、7組で事故が相次ぐ3ヶ所の路面標示の修繕・新設の要望書を12月に作成、岡山県公安委員会に提出し判断を待っています。9組ごみステーションは、新設予定の近隣の方々のご承諾を得るところから進めています。防災面では特にリスクが高まっている浸水害、内水氾濫を防ぐことがポイントです。町内の低い場所では1時間に30mm程の降雨で側溝から雨水があふれるため、用水増水時に田中ポンプ場を稼働し強制排水しますが、各戸で土のう対策もお願いします。農業での役割を終えつつある用水路は、普段から川の流れを良くするために藻引き・川ごみ除去など清掃活動にも取り組んでいきますのでご協力をお願いします。

最後になりましたが、日頃から隣近所とのコミュニケーションをとることは「共助」=助け合える人間関係が育つことにつながります。地域活動への参加は、近隣の方々の顔と名前を知る良い機会です。子どもから大人まで気がねなく関わっていただくことで平穏で豊かな暮らしの一助となることを願っています。

